

広報誌

# 緑のそよ風



## Main Contents



新年のご挨拶・・・・・・・・・・	1	初動対応及び火災対応訓練・・・	5
「地域医療連携の会」開催報告・・・	2	「健康ワンプointチェック」を実施・・・	6
災害時包括連携協定・・・・・・・・	3	市民公開講座のお知らせ・・・	6
合同病診連携会・・・・・・・・・・	4		



## 新年のご挨拶

八王子医療センター病院長

池田 寿昭

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられた事とお慶び申し上げます。

八王子医療センターでの新体制が発足してから2年目の年を迎えますが、昨年の思いもかけない大学での一連の不祥事により少なからず影響があり、皆様にご迷惑をお掛け致しました。

しかし、新たな東京医科大学として再出発を図る絶好のチャンスととらえ、八王子医療センターの職員も一致団結して、前進していく所存です。そして、近隣の医療機関の先生方と協力して「顔の見える連携」を深め、患者さんやご家族の方々からも信頼される健全な病院運営を行ってまいります。幸い、八王子医療センターは、教職員の献身的な頑張りもあり、昨年は経営や収支面では大過なく経過する事が出来ました。あわせて近隣医療機関の先生方のご理解、ご協力の賜物であると感謝いたしております。

本年はセンター設立から39年を迎えようとしており、建物の老朽化は避けて通れません。そのためには、新棟建設準備が必須となってきており、さらに今年10月からの消費税10%アップが向かい風となることは避けられない事実となります。そのような状況の中でも、八王子医療センターの基本理念と基本方針に忠実に、さらには「医療安全なくして病院経営を語るべからず」を肝に銘じ、よき医療現場を展開していきたいと考えております。本年も先生方のなお一層のご指導、ご鞭撻を頂きながら、信頼される医療機関として活動していければと思っております。

最後になりますが、皆様方にとりまして実り多い平穏な年でありますことを祈念し、年頭の挨拶にかえさせて頂きます。

## 「地域医療連携の会」開催報告

総合相談・支援センター 医療連携室  
田中 博一

平成 30 年 11 月 8 日(木)、京王プラザホテル八王子において、地域医療連携の会を開催しました。

当センターでは、これまでも、八王子市医師会との共催で平成 13 年から春と秋の年 2 回、病診連携学術講演会を開催してまいりましたが、今回は更に東京都南多摩保健医療圏の 5 市(八王子・日野・多摩・町田・稲城)医師会、東京都八南歯科医師会、神奈川県相模原市医師会、山梨県北都留医師会などから 135 医療機関 189 名にご臨席を賜り、盛大な会を開催することができました。

今回は初めての試みとして毎年、地域医療機関の皆様へ配布している診療科案内の冊子「ホスピタルガイド」のライブ版さながらの 11 診療科の先生によるプレゼンテーションを行いました。

また、その後の懇親会においては、八王子市医師会長 石塚太一先生にご挨拶をいただき、理事 安藤高夫先生にはご挨拶に続けて乾杯のご発声をいただきました。また、東京医科大学からは林由起子学長の挨拶がありました。

今回は日頃あまり顔を合わす機会が少ない医師会の先生方とも和気あいあいとした有意義な時間を過ごすことができました。来賓を代表し、稲城市医師会長 谷平茂先生、相模原市医師会長 竹村克二先生、北都留医師会長 渡部一雄先生にご挨拶をいただき、当センターとの関わり、県を超えた連携強化の大切さや難しさを教えていただきました。

地域の先生方からは逆紹介を積極的に受け入れるので、どんどん進めてほしいという医療連携の推進に対する心強いご意見や今回発表されなかった診療科についても次は是非聞いてみたいというご意見もいただき、出席した職員は皆、当センターへの期待に応えなければという思いとその重みをあらためて肌で感じることができました。

しかしながら、今回はこれほどまでにたくさんの方々にお越しいただき、不慣れなこともあって受付や進行がうまくいかなかった反省点も多々ありました。

来年もたくさんの先生方をお迎えし、より実りのある会を目指し、スタッフ一同で綿密な準備を進めてまいりたいと考えております。

どうぞご出席いただいた皆様には忌憚のないご意見をお寄せいただき、次回に活かしたいと思っております。

医療連携に関わるスタッフ一同、誠心誠意業務に努めてまいりますので、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。また、今回ご出席いただけなかった先生方も、是非次回ご出席いただければ幸甚に存じます。



## 法政大学と災害時包括連携協定を締結

総務課長  
森本 雅之

平成 30 年 11 月 9 日 (金)、法政大学多摩キャンパスにおいて、当センターと法政大学との災害時包括連携協定の締結式が行われ、池田寿昭・当センター病院長、増田正人・法政大学副学長らが出席しました。

本協定は、火災や大規模な地震等の災害が発生した時に、相互に協力してその機能を最大限に発揮し、被害を最小限にとどめることを目的としています。

有事の際に両大学が有する人的、物的資源を役立てることはもとより、防災訓練への参加や災害医療の研修などを実施して、防災に対する知識と意識を持った人材の育成を行ってまいります。

法政大学多摩キャンパスは、昭和 59 年 (1984 年) に開設し、経済・社会・現代福祉・スポーツ健康学部、大学院の学生約 9,200 人が学んでいます。

当センターは、東京都南多摩保健医療圏 (八王子市、日野市、多摩市、町田市、稲城市) の災害拠点中核病院であり、昨年は、拓殖大学八王子国際キャンパスと災害時応援協定を締結し、学生や教職員への災害医療の研修や当センターの市民公開講座への講師派遣など連携を深めています。

今後、法政大学との交流が深まり様々な連携が展開されることで、地域の安全・安心と市民の皆様の期待に応えられるよう取り組んでまいります。



協定書への署名



協定書を取り交わし握手する  
法政大学・増田正人副学長 (左) と池田寿昭病院長



出席者記念撮影

## 「みなみ野地域3病院合同病診連携会」開催報告

総合相談・支援センター医療連携室

中村 緑

平成30年11月20日（火）、みなみ野病院、みなみ野循環器病院と合同で病診連携会をみなみ野病院において開催しました。

みなみ野地区を中心に、病院、クリニック、訪問看護ステーション、包括支援センター、居宅介護支援事業所等から看護師、社会福祉士、介護支援専門員様々な職種から50名を超える皆様にご参加いただきました。



『みなみ野地域の地域包括ケアシステム～多職種連携で支える～』をテーマに二部構成で行い、前半は高度急性期、循環器疾患の急性期、そして回復期、慢性期のそれぞれの立場からの講演と、後半は数井クリニック数井学先生の進行で、在宅に携わる皆様からのご意見や要望を伺い、活発なディスカッションが繰り広げられました。

日頃接する機会の少ない職種の方々との交流は、立場の違った目線から、より視野を広げた連携の必要性を痛感させる新しい試みとなりました。

今後は、各々の課題や問題点を話し合いながら回を重ねていくことで、地域が一丸となり協力しながら取り組んでいきたいと考えております。

当センターとしてはみなみ野病院に、八王子市初の緩和ケア病棟が開設されることに期待を寄せています。

みなみ野地区から当センターへのアクセスは、近いうちで意外と時間がかかるため、八王子みなみ野駅から永生病院と共同で無料シャトルバスの運行を始めておりますが、まだまだ浸透されておきませんので、是非ともご利用いただければと思います。



## 地震発生時における災害拠点中核病院としての 初動対応及び火災対応訓練を実施

総務課防火防災対策室長  
丸山 幹夫



被害状況等情報を本部長に報告し対応している様子

人が参加しました。

この訓練では、大規模地震発生時に災害拠点中核病院として、少しでも早く被災した患者を受け入れるべく、災害対策本部を中心とした被害状況の把握、対応、関係機関との連携、そして、早期患者受け入れ態勢の確立などの重要性を学びました。

更に、火災が発生した時の、病棟医師・看護師と自衛消防本部隊員と連携した通報・初期消火・避難誘導、安全防護、消防隊への情報提供なども学びました。

発災と同時に、職員全員が身の安全を図り、その後災害対策本部を立ち上げ、被害状況等を収集し、外来等の中止、人員、医療機材、薬剤、ベッド等の確保、火災や被害への対応を行い、約1時間後には患者受け入れ宣言をすることができました。

火災対応訓練では、はしご隊やポンプ隊により、取り残された人を救出する訓練も行われ、改めて消防隊との連携の重要性を認識することができました。その後、参加者全員が、自衛消防本部隊員の指導の下、訓練用消火器を使って初期消火訓練を実施しました。

参加者は、近いうちに発生が危惧されている大規模地震の対応について、真剣に訓練に向き合い、学び、大きな成果を収めることができました。

また、保育園児も見学に来て訓練に見入っていました。

評価会では、参加者全員が、今後も継続的に訓練を行い、適切な初動対応ができるように備えていきたいと気を引き締めていました。

平成30年12月1日（土）、大規模な地震が発生したことを想定した初動対応訓練と地震により発生した火災対応訓練が、東京消防庁八王子消防署（指揮隊・はしご隊・ポンプ隊・救助隊・クイックアタッカー）の協力を得て実施されました。

訓練には、幹部や各所属長をはじめ、医師、看護師、医療技術職員、事務職員、また、当センター内の保育園の職員や管理人、業者などあらゆる分野から総勢100



2階と4階に取り残された患者を八王子消防署の部隊が救出中

## 八王子いちょう祭りに看護部が参加 「健康ワンポイントチェック」を実施

B4東 看護師  
井上 一穂



2018年11月18日(日)第39回八王子いちょう祭りが行われ、当院の看護部では救護所を設置し、「健康ワンポイントチェック」と称して血圧測定とAEDの使用方法的説明を行いました。血圧測定は延べ100名、AEDの使用方法的には51名の参加があり、また救護を行った方が1名ありました。

参加いただいた方からは、「いつも血圧は気にしているの、運動した後はどんな感じかしら」や、「明日医療センターの循環器内科に受診するんだよね。血圧が高くって、薬出してもらっている。いい先生が多いよね」「あら、こんなに高いの?気を付けないと倒れちゃうかも。どうしたら血圧

は下がるのかな」など健康相談の場になっていました。

AED使用方法に参加した方は、「運転免許の際には聞いた気もするが、自信がないから教えてほしい」「家族に何かあった場合に使用できるか不安」「学校にも置いてあるのでぜひ教えてほしい」といった意見が出ていました。

地域の中核病院としての当センターの役割の重要性を感じると共に、参加して頂いた方にとっては、医療に触れるいい機会になったのではないかと思います。



### information

#### 第52回市民公開講座のお知らせ

日時：平成31年2月2日(土) 13:30～14:30  
開催場所：八王子医療センター 手術棟3階 講堂  
題名：「脳卒中～症状・治療・予防について～」  
講師：脳神経外科 奥村 栄太郎先生  
※予約不要

お問合せ：東京都医科大学八王子医療センター  
総合相談・支援センター ☎042-667-5900(ダイヤルイン)

